

5 令和7年度第12回茨城県高等学校5地区合同水泳競技大会

- 1 主催 茨城県高等学校体育連盟
- 2 主管 茨城県高等学校体育連盟水泳専門部・(一社)茨城県水泳連盟
- 3 後援 取手市・取手市教育委員会
- 4 場所 TAC取手グリーンスポーツセンタープール
〒302-0032 取手市大字野々井1299番地 TEL 0297-78-9090
- 5 期 日 令和7年12月13日(土)
- 6 競技方法 個人別競技 男女別・種目別競技全種目タイム決勝レースとする。

- 7 競技種目

自由形	50m・100m・200m	個人メドレー	200m
平泳ぎ	50m・100m	フリーリレー	4×50m
背泳ぎ	50m・100m	メドレーリレー	4×50m
バタフライ	50m・100m	混合地区対抗フリーリレー	8×50m

8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む。)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技専門部に登録し、2025年度公益財団法人日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。
- (3) 年齢は、平成18年(2006年)4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。〔「出場」とは登録やエントリーでなく、試合の出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。〕
(高校3年生の出場可)
- (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
 - ア 部員不足に伴う合同チーム
(全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と同専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」に基づき、茨城県高等学校体育連盟会長により大会参加が認められた場合)
 - イ 統廃合対象校による合同チーム
(統廃合完了前の2年間に限る)
- (6) 転校(転籍)後1年未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は、県高等学校体育連盟会長の承認があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規程に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
 - ア 県高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修学年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、専門部での出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 県高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(9) 大会参加制限

- 外国人留学生の出場枠について(出場枠を設けている専門部に適用)
- ア 学校教育法第1条に規定する高等学校卒業を目的として入学している生徒であること。
 - イ 在籍校が、県高等学校体育連盟に加盟していること。
 - ウ 年齢は、平成18年(2006年)4月2日以降に生まれたものとする。
 - エ 短期留学生は認めない。
 - オ 人数については全国高等学校総合体育大会に準じて各専門部で制限を設ける。

9 引率・監督

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、当該校の職員(但し、事務職員・技術職員を除く)とし、参加選手の行動に対して責任を負うものとする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高体連会長に事前に届け出ること。

(3) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

10 競技順序

開 場 時 間				役 員 打 合 せ				9 時 2 0 分						
主 任 会 議				開 会 式				1 0 時 0 5 分 ~ (1 0 分 間)						
8 時 4 0 分				競 技 開 始 時 間				1 0 時 2 0 分						
No	性別	距 離	種 目	予/決	No	性別	距 離	種 目	予/決					
1	女子	4×50m	フリーリレー	タイム決勝	13	女子	50m	自由形	タイム決勝					
2	男子	4×50m	フリーリレー	タイム決勝	14	男子	50m	自由形	タイム決勝					
3	女子	200m	個人メドレー	タイム決勝	15	女子	100m	背泳ぎ	タイム決勝					
4	男子	200m	個人メドレー	タイム決勝	16	男子	100m	背泳ぎ	タイム決勝					
5	女子	200m	自由形	タイム決勝	17	女子	100m	平泳ぎ	タイム決勝					
6	男子	200m	自由形	タイム決勝	18	男子	100m	平泳ぎ	タイム決勝					
7	女子	50m	背泳ぎ	タイム決勝	19	女子	100m	バタフライ	タイム決勝					
8	男子	50m	背泳ぎ	タイム決勝	20	男子	100m	バタフライ	タイム決勝					
9	女子	50m	平泳ぎ	タイム決勝	21	女子	100m	自由形	タイム決勝					
10	男子	50m	平泳ぎ	タイム決勝	22	男子	100m	自由形	タイム決勝					
11	女子	50m	バタフライ	タイム決勝	23	女子	4×50m	メドレーリレー	タイム決勝					
12	男子	50m	バタフライ	タイム決勝	24	男子	4×50m	メドレーリレー	タイム決勝					
								25 混合8×50m	地区対抗フリー	タイム決勝				
								後片付け・表彰式						

11 申込方法

【提出物】

- Web-SWMSYSで申し込み登録をする。
●令和7年度茨城県高体連水泳専門部競技会申込書
●個人種目申込一覧表
●リレー種目申込一覧表 …リレー種目に出場しない学校は不要

12 参加制限

- 1校1種目3名以内、1人2種目以内とする。
ただし、リレー種目は、1校1種目1チームとする。
※1校1種目4名以上出場する場合は、4番目以降の選手をオープン参加として大会出場を認める。尚、申し込みの際には、「誰がオープン出場か分かるように」明記すること。（個人種目申込一覧表の、選手名の左わきに「OP」と記すこと。）

～オープン（OP）参加選手の出場条件について～

- ① 学校対抗の得点にはならない。
② ランキングから除外する。
③ 好記録であっても新記録の認定を行わない。

13 申込締切

令和7年12月 9日（火）必着のこと。

14 申込先

各地区委員長

15 プロ編成

令和7年12月10日（水）茨城県立 大洗 高等学校

16 表彰

各地区高体連会長より、団体男女別、個人種目・リレー種目共に上位3位までの入賞者に賞状を贈る。

17 その他

- (1) 参加校の選手は、必ず当該校の職員または部活動指導員によって引率され、参加選手の行動に対して責任を負うものとする。引率のいない学校の選手は出場を認めない。
(2) 当日の開門時間を厳守して、早朝からの場所取りは認めない。常に高校生らしい態度で臨むようにする。
(3) プールサイドは履き物禁止、素足で入場する。施設（ロッカー室・更衣室・トイレ等）を利用するときは、整理整頓に努め、使用した物の後片付けをして、正しいマナーを身につけること。（ゴミは、各学校でビニール袋を用意して持ち帰ること。）
(4) 貴重品の管理は、各学校で責任を持って行うこと。
(5) 会場準備は8時00分から県南地区が担当する。後片付けは競技終了後に参加校全体で行う。係分担については、後片付け係分担を参照すること。
(6) W-u p 時間について [予定]
全地区 8:40 ~ 9:55 (75分)
尚、公式スタート練習時間については、後日、高体連水泳専門部のHPで発表する。
(7) 大会運営費として、大会当日の朝受付時に費用を徴収することはありません。
(各地区委員長が地区の費用から支出します。)

競技会当日の注意事項

(1) 競技役員について

- ① 競技役員は、引率職員とする。（各学校から、少なくとも1名以上。）

(2) 競技進行上の注意について

- ① 競技は、2025年度（公財）日本水泳連盟 競泳競技規則による。
② 競技におけるスタートは、1回とする。フォルススタートに注意する。
③ プールの水深は1.4m（取手GSCプール、笠松サブプール）、2.0m（笠松メインプール）、水温は25度～28度とする。
④ リレー種目における引継ぎ時間の判定は、機械優先で行うので十分注意をすること。－0.03秒までは許容し、－0.04秒以上は失格となる。

- ⑤ゴールしたら、できるだけ早く退水すること。(15秒以内に上がる。)特にリレー種目の場合は、引継ぎの判定、ならびに全自動装置の作動を妨げないように注意すること。
- ⑥競技中は、次の競技者はスタート以前に入水しないこと。身体を濡らすため水を浴びる場合は、スタート台付近に設置の容器の水を用いて行う。(これに違反すると、失格として競技から除外される。)
- ⑦背泳ぎのスタートの場合は、足から入水し、アップ等のスイムは行ってはならない。
- ⑧選手は、招集所で必ず点呼を受けること。招集を受けない者は、棄権として扱う。
- ⑨招集時刻は、20分前までに集合すること。招集に遅れないようにすること。
- ⑩競技の進行は、進行表記載の±20分以内とする。
- ⑪リレーオーダー用紙は、所定の時間までに「本部」へ必ず提出する。提出締切時刻は、プログラムで確認すること。また、提出後の変更はできない。(傷病による急な変更を除く。)
- ⑫競技者は、傷病または不測の事態等の正当な理由なく競技出場権を放棄してはならない。棄権する場合は、棄権届出用紙に必要事項を記入し、招集所に競技開始20分前までに提出すること。
- ⑬リレー種目の決勝の前に10分程度の休憩を取ることとする。
- ⑭テープ類・アクセサリを着用して競技に出場することは禁止とする。ただし、怪我等によるテーピングの使用は、審判長の承諾により許可する。監督(引率顧問)は、競技会開始前までに「テーピング許可願」を「本部」へ必ず提出すると同時に、該当選手を「本部」へ連れてくる。
- ⑮プログラムに脱落やミスプリントがある場合は、プログラム訂正用紙に必要事項を記入し、直ちに招集所に届けること。
- ⑯一時的に競技能力の上昇を図る目的で、薬品または嗜好品等を用いないこと。
- ⑰記録速報は「掲示板」に掲示する。
- ⑱ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。

(3) 会場利用上の注意

TAC 取手グリーンスポーツセンタープール会場利用上の注意

- ①会場準備は、県南地区の高校で行い、開場時間は8時00分とする。他地区の開場時間は8時40分とする。時間厳守の上、早朝からの場所取りは認めない。常に高校生らしい態度で臨むようにする。また、スタンドの場所取りは、指定されたエリアで行うこととする。
- ②スタンドの座席割り振りについて、最前列と2列目を「保護者専用席」とする。選手は、ここに座ってはならない。また、「選手が保護者専用席の場所取りを行う」ことを禁止する。ルール違反をしないよう、心がけること。スタンドは、譲り合って使うこと。
- ③プールサイドは履き物禁止、素足で入場する。
- ④1階ロビーでの、素足・水着のみの移動・ミーティングは禁止とする。
- ⑤指定された場所以外(1階ロビー並びに2階ロビー・通路等)での場所取りは禁止とする。敷物・シート・折りたたみ椅子等を用いて場所取りを行ったり、観戦したりすることも禁止する。

- ⑥施設（観客席・更衣室・ロッカー・トイレ・選手控え室等）を利用するときは、整理整頓に努め、使用した物の後片付けをして、正しいマナーを身につけること。
（ゴミは、各学校でビニールを用意して必ず持ち帰ること。）
2002年茨城総体開催記念事業「高体連クリーンプロジェクト」の一環として継承する。
- ⑦屋外にある「流水プール」は、使用禁止とする。
- ⑧正面駐車場は、駐車禁止とする。
引率顧問の駐車場は、北駐車場か東駐車場を利用する。
マイクロバス等での選手の送迎・保護者による送迎も、北駐車場か東駐車場で行うこと。
- ⑨貴重品の管理は、各学校で責任を持って行うこと。盗難等の事故に關しては、一切の責任を負わない。
- ⑩会場内でのビデオ・カメラで撮影する場合は、必ず「許可」を受けること。撮影終了後は、速やかに返却すること。
赤外線フィルター（赤、オレンジ等）やナイトショット機能等を用いての撮影は禁止する。
「撮影許可証」を発行するので、撮影する際は必ず首から「撮影許可証」をかけること。
大会終了後、「撮影許可証」は速やかに受付へ返却すること。
- ⑪朝の受付時に、引率顧問（1部）と各学校（1部）にプログラムを配布する。保護者の方には、1部300円にて販売する。
- ⑫高校生として品位を保ち、節度ある応援を心がけること。応援は、競技運営に支障のないように注意すること。（審判長の笛が鳴ってから、出発の合図が終わるまでは禁止する。）
- ⑬プールサイドまで出での応援・コーチは絶対しないこと。
- ⑭スタンドの出入口扉は、施設内の換気の関係上、開けた状態を保つ。
- ⑮会場の後片付けは競技終了後に参加校全体で行う。係分担は次のとおり。

TAC取手グリーンスポーツセンタープールにおける後片付け係分担

（全地区）	使用した選手控室の原状復帰とゴミ拾い
（県南地区、水戸地区）	メインプールのレーンロープ・タッチ板・スタート台・プールサイド水まき 等
（県東地区）	2階スタンドとエントランスのゴミ拾い
（県北地区、県西地区）	更衣室とトイレ及びその周辺の清掃

*指示と最終確認は、各地区委員長の指示の下、引率顧問の先生方で行います。

TAC取手グリーンスポーツセンター案内地図

